



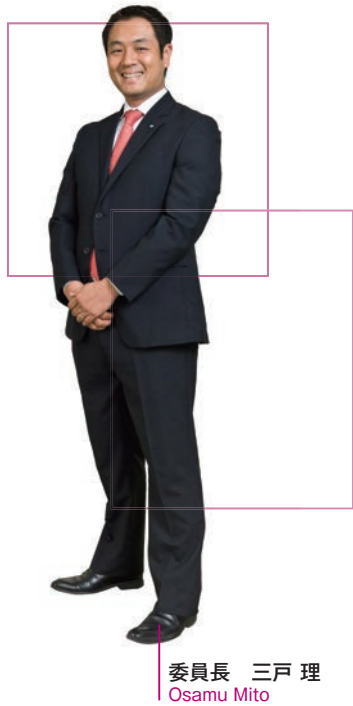
## 平和のために行動できる人を増やす～「水の問題」をテーマに～

世界連携推進委員会は、「恒久的世界平和」をテーマに、大阪の一般市民を対象とした未来創造フォーラムと、昨年から始まった PCY（ピースカンファレンス・オブ・ユース）事業を行いました。

昨年度は PCY の行動指針となる「世界学生平和憲章～ The Charter of PCY ～」を作成しましたが、本年はその憲章に基づき、平和のために行動を起こす人々を増やして行く為に一年間活動して参りました。活動テーマを世界中全ての人間が生きて行く上で等しく必要な「水の問題」とすることで、国籍や文化、宗教、性別、年齢の違う全ての人々が自分事として問題を共有することができ、その問題の解決について語り合い行動することができると考え活動して参りました。

未来創造フォーラムでは、今年 1 月にアースマラソンを走り終えた間寛平氏と企業として貧しい国々の水の問題解決に取り組む日本ポリグルの小田会長のお二人を講師に迎え、市民に対し、世界に目を向けその実情を知り、世界で苦しむ人たちのために自分たちにも出来ることを行うことの大切さを伝えました。

第 2 回 PCY では、国内外 24 人の大学生を集め、1 週間に亘り様々なプログラムを行い、世界の全ての人が清潔できれいな水を手に行ける社会を作る為に行動するアクション・プランを作成致しました。最終日には既に社会を変えるために活動している森下雄一郎氏、高嶋由美子氏を基調講演者に迎え、ピースカンファレンスを開催し PCY メンバーが自らが作成したアクション・プランを発表、2012 年 3 月 22 日の世界水の日に向けて行動して行く事を宣言しました。彼らは自ら行動するだけでなく、平和のために自分たちにできることを行うことが大切であることを周りに伝え運動を拡げて行くリーダーとなることを確信致しました。



委員長 三戸 理  
Osamu Mito

## STAFF

<b>委員長</b> 三戸 理	<b>副委員長</b> 小澤 高行 川上 確	<b>委員</b> 青野 剛暁 青山 達至 石川 哲朗 和泉 恵幸 今田 晴久 内田 真一郎 大東 俊也	大南 勝範 岡田 健次良 河田 有世 菊岡 道行 北側 雅勝 清岡 義教 黒田 淳子 越田 泰生	児島 篤志 後藤 大悟 小森 省吾 阪野 絵理 塩田 祐大 塩山 知之 清水 忠 角倉 力	田口 善隆 田中 裕三郎 田中 有美子 谷川 安德 谷間 真裕 玉木 智哲 中川 正義 中川 貴嗣	中嶋 啓介 中村 恒太 中屋 昌太 野田 貴浩 橋村 勝祐 林 桂三 髭 義隆 姫嶋 大輔	福家 一憲 藤田 恭子 三戸 淳 皆川 友範 村尾 尚太郎 村治 規行 盛田 悟史 山岸 久朗	山口 良里子 山崎 豊和 吉田 拓 吉田 義章 依田 雅 渡邊 敬介
--------------------	------------------------------	---	---	--	--	--	--	---



## 大阪的外交推進委員会

Osaka Foreign Policy Promotion Committee

### 委員会基本方針

私たちは、今の時代や社会に合った大阪のエッセンスを含み、それぞれが帰属する国際的な組織の一員としての誇りを持ち、目標をめざして協力し取り組み、常により良い未来に向かって共に新たな価値を生み出す、互いのまちに有益な友好関係を強化していきます。



日 時：5月26日(木)～29日(日)  
場 所：マニラ  
参加者：計画 200名 結果 169名



日 時：11月1日(火)～5日(土)  
場 所：ブリュッセル  
参加者：計画 120名 結果 86名

## ASPAC マニラ大会

(台北・大阪LOMナイト／ジャパンナイト／ASPAC アワード)

LOM ナイトでは台北クイズ、ジャパンナイトでは「関西風うどん」の提供と異なる価値観を互いに理解しあえました。アワードには、エントリーだけでなく多くのメンバーがセレモニーに参加しました。LOM ナイトでは、個々の持つ情報を共有するために、交流の持てる座席を検討しましたが、通訳等のアテンドが充実できませんでした。【工夫した点】LOM ナイト(初めての試みとしてシスターJCとの交流を実施)／ジャパンナイト(食文化をテーマにうどんのトッピングで交流を図る)／ASPAC アワード(エントリーに至るまでの勉強会を開催)

## 世界会議ブリュッセル大会

(大阪LOMナイト／ジャパンナイト／アワードセレモニー)

ジャパンナイトでは、大阪のまちの雰囲気再現し大阪の食文化を体感していただくことで、異なる価値観を世界中の人々に認知していただきました。ただ、食品の調理・配布が多忙となり、個々の持つ情報の共有がじゅうぶんにできませんでした。【工夫した点】ジャパンナイトでは、大阪の雰囲気を楽しみながら、その場で大阪の味を堪能できるブースを設置、世界中のメンバーに大阪の存在感をアピール。アワードセレモニーはほぼすべてにエントリーした。

